

お客さまへ

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わない 必ず指示に従ってください。

禁止 絶対に行わない

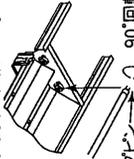
警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があるもの
禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害につながるもの
禁止	お客さま自身で感電工事はしない。感電工事などは資格が必要。
禁止	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)

ランプ交換・器具の清掃

ランプ交換

(1) ランプを90°回転させ、ソケットからははずす。
(2) ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。



ランプピンを90°回転

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・みがき粉やたわし
・殺虫剤
・シンナーなど揮発性のもの
○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞って落とす。反拗の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

インバータ器具の取扱い

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

■警告
煙が出たり、変な臭いが出たり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
煙が出なくなると、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎ (0467) 41-2728 (営業企画課)
三菱電機照明株式会社
☎ (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)



連絡先

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
▲警告、▲注意の表示で区分して説明しています。
▲表示の意味は表中で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があるもの
禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害につながるもの
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)
禁止	電源線は器具の外観に直接触れない。 (過熱して火災の原因)
禁止	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害につながるもの
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。(火災・感電の原因)
禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	蛍光灯専用器具以外には調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)

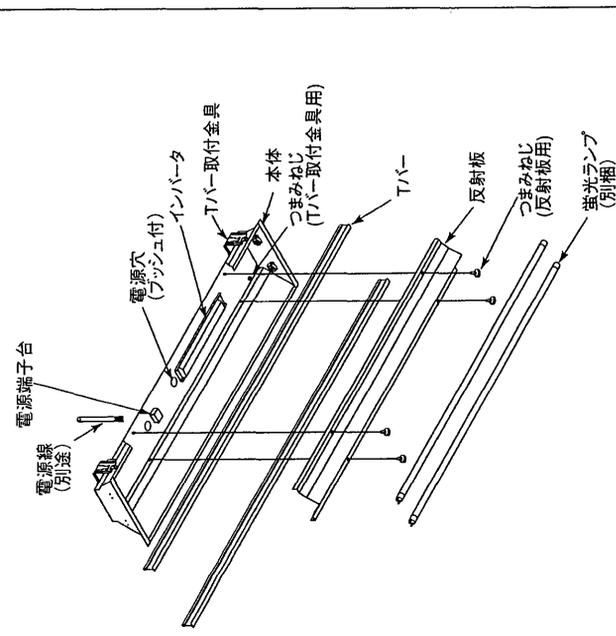
お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。点灯始動保証温度は-5℃以上です。周囲温度5℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。

この説明書は、再生紙を使用しています。

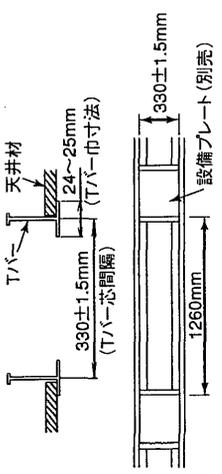
各部のなまえと取付けかた

警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



1 取付け前の確認

この照明器具は既設天井対応のシステム天井専用器具です。適合Tバー寸法とTバー芯間隔を事前に確認する。



警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

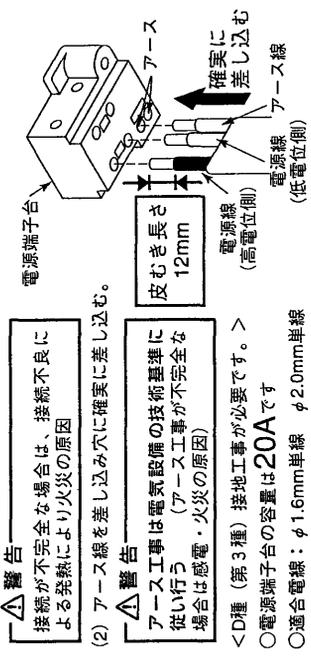
2 器具本体を取付ける

- (1) 反射板を取りはずす。
○反射板用つまみねじ (4カ所) をはずし、反射板を取りはずす。
- (2) 器具本体をTバーに確実に落とし、Tバー取付金具を差し込む。
- (3) TバーにTバー取付金具のTバー取付ねがねが確実にセットされたかを確認する。

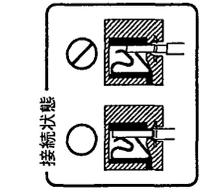
警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

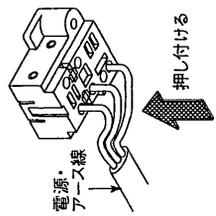


- 警告**
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因
- 警告**
アース線は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)
- 警告**
送配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)
- 警告**
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ連続端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



(3) 電源線 (アース線) の挿入部は反射板の当りたりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

○電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスインドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

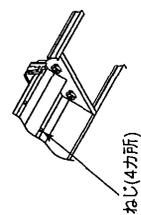


4 反射板を取付ける

○反射板を器具本体に入れ、反射板用つまみねじ (4カ所) を取付ける。

警告
反射板取付けの際は電線を挟まない (絶縁不良により感電・火災の原因)

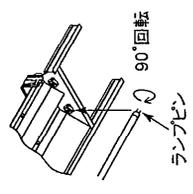
注意
取付けが不完全な場合落下の原因



5 ランプを確実に取付ける

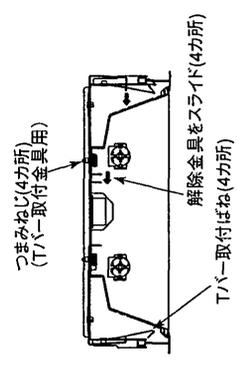
ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。

注意
取付けが不完全な場合落下の原因



6 取りはずし方法

- (1) 反射板用つまみねじ (4カ所) をはずし、反射板をはずす。
- (2) Tバー取付金具についている解除金具を、本体中央方向にスライドさせる。
- (3) Tバーから、Tバー取付ねがねがはずれたことを確認して、器具本体を取はずす。



※天井内の高さが低い場合や、干渉してTバー取付ねがねがはずれない場合は、Tバー取付金具についているつまみねじ (4カ所) を外し、器具本体を分離して取り外す。

7 オプション

○この照明器具は各種オプション (別売) が取付可能です。目的にあったオプションをカタログご参照の上ご使用ください。